

■北小学校区 第1回きずなづくりトークの意見概要と方向性

テーマ「地域の実状に応じた防災訓練のあり方について」(※●は市長発言)

7月8日 市民体育館

| 発言者 | 現況・課題 | 対応策・要望 |
|--------------|---|--|
| ◆第1部「地域座談会」 | | |
| 芝本町町内会 | <ul style="list-style-type: none"> ○今年3町内会が一つに合併。昨年合併のための検討委員会で町内会副会長を防災担当として選任。現在訓練内容を検討中。 ○毎年9月第一日曜日に防災訓練を実施。今年は新提案が出て来ると思う。今までは消火器、炊き出し、様々な機械を扱う訓練等実施。マンネリ化し参加者がほぼ同じことが課題。 ○先日、北小学校でPTA主催の防災学習会があったが、どこの子か単独だとなかなかわからない。 | <ul style="list-style-type: none"> ○中・高校生は大きな戦力なのでできるだけ多く参加してもらいたい。 ○東北の被災地視察の下見に行った。色々な話が聞けたので、新しい体制で活かしたい。 ○日頃からお祭り、イベント等を通じて地域のつながりを深め、顔見知りになることが必要。 |
| 一番町町内会 | <ul style="list-style-type: none"> ○商店街が中心になるが、店の準備などで参加される店主は少ない。 ○去年回覧で防災訓練を周知徹底しようとしたが500世帯中40人程度の参加。 ○今年10月20日の防災訓練では、起震車や炊き出しなど少し大規模に実施予定。 ○青年部・商工会・しゃぎりの会、それぞれの団体に内容案を提出してもらい、皆が喜んで参加できるよう検討・準備中。 ○倒壊した建物の復旧、人員救助のための道具、浄水器は備えてある。訓練では第一分団の指導を受けながら、可搬ポンプの起動と放水、消火器の訓練等実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ○震災時、怪我をせず、家が住める状態の方々は避難所へ避難しないことを徹底・周知してほしい。 |
| 中央町2区 町内会 | <ul style="list-style-type: none"> ○町内会の主な活動は防災活動だと思う。 ○防災委員会は組織表に全部当てはめて町内の方をお願いしている。各担当二人ずつということで連携してやっていく。 ○9月の防災訓練は消火訓練等を予定。 ○危機管理課からの出前講座で東北の体験の講話、消防署から来てもらいAED、心肺蘇生などの勉強会を実施した。 ○主に防災委員の人たちだけ参加するような状況になっているのが課題。 | <ul style="list-style-type: none"> ○東日本大震災では、日頃訓練や勉強会に参加していない人たちが命を失った。それを町内の方々に認識してもらいたい。 |

| | | |
|-----------------|---|--|
| 文教町 2 丁目 自治会 | <p>○訓練はこの 5、6 年やっていない。</p> <p>○今年町内の各委員に集ってもらい、防災用品のチェック、ポンプの試験をやるうと考えている。</p> <p>○文教町 2 丁目は南北に長いので、災害時一次避難所の近くにいるかどうかわからないという課題がある。</p> | <p>○今年準備をして来年からは皆さんの意見を参考にしながら訓練を行っていききたい。</p> |
| 文教町西 町内会 | <p>○阪神淡路大震災が一番教訓になる。</p> <p>○個人の備え、地域のコミュニケーションが大事。この二つを去年今年と重点的にやっている。</p> <p>○阪神淡路大震災の時には 6,300 人の方々が犠牲になったが、80%5,000 人が倒壊した建物や家具の下敷き、10%が火事で亡くなっている。</p> | <p>○平時に家具の固定、耐震補強、部屋を強固にする、消火器の確認などを行うことが大事。</p> <p>○地域のコミュニケーションはお祭りなどのイベントを通して築いていきたい。</p> <p>○今年黄色いハンカチを購入予定。</p> |
| 大宮町 1 丁目 自治会 | <p>○昨年可搬式ポンプを購入した。実際に稼働できるかが課題。</p> <p>○今までは防災倉庫や防災備品の整理などハードを中心とした活動が主だった。</p> <p>○これからはソフトの部分、町内 23 組ある組単位の活動が重要だと思う。</p> | <p>○組単位、隣近所で助けあうことを第一のテーマとして取り組んでいく。</p> |
| 加茂川町 1 区 町内会 | <p>○防災訓練は毎年 9 月にやっている。</p> <p>○550 世帯 1,500 人ほどいるが約 100 人しか来ない。どうしたら人を集められるかが一番の問題。</p> <p>○訓練内容も消火器、チェーンソー、三角巾などマンネリ化している。</p> | <p>○対策として 5 年間で期限が切れる備蓄食糧を配布したが結果的に集まらなかった。</p> <p>○防災訓練の参加率を上げる方法や、訓練内容について何かいい方法があれば知りたい。</p> |
| シャルマンコーポ 町内会 | <p>○12 階建てマンション、232 世帯ある。</p> <p>○毎年 7 月に防災訓練実施。今のところ参加者は 140 名、特に小・中・高校生の参加を呼びかけている。</p> <p>○マンションなのであわせて消防訓練も行う。昨年 35m 級のはしご車にきてもらい、8 階部分から救出訓練実施。</p> | <p>○小・中・高校生が参加すると家族の参加も見込める。</p> <p>○はしご車は人集めにもいいので今年も実施予定。</p> |
| 文教町東岩崎 町内会 | <p>○36 戸、総人数 80 名の小さな町内。</p> <p>○昨年は自主防災活動マニュアルに基づき、活動方法、平時・警戒宣言発令時・災害時、第 2 次避難所での対応等についての勉強会を行った。</p> | |

| | | |
|-----------------|---|---|
| | ○今年9月に初期消火活動や三角巾などの一般的な防災訓練をする予定。参加人数も25名～30名程度の予想。 | |
| 壱町田1丁目自治会 | ○年に一回防災訓練で、可搬ポンプの放水訓練、消火器、AED等を実施。 ○参加人数は子どもたちを含め100名程。 ○一般家庭の500数十世帯は把握しているが、単身者は把握できていないのが問題。 ○災害時、多くの組長が自分の取るべき行動をわかっていない。徹底していく。 ○昼間の大人の男性不在時、また夜間の高齢者の対応などが課題。 | ○マンネリ化しないよう今年にはスモークハウスを準備。起震車は来年抽選に当たれば来てもらう。 ○学生含めて単身者にもっと積極的に参加してほしい。日大を巻き込むなど、学生にも活躍してもらわないといけないのではないか。 |
| 壱町田2丁目自治会 | ○先日防災訓練を実施。 ○120世帯あるが学生がほとんどで持ち家が17軒、そのうち8割が1人暮らしの高齢者という状況。 ○小学生5人に実際の災害はこんなものではないということを教えた。 | ○中学生、高校生は災害を視察した方がいい。 ○中高生の関心が高まる行動をしていくといい。(ファシリテーター) |
| 県営壱町田やまがみ団地自治会 | ○年に一回防災訓練実施。 ○参加人数は168世帯中20世帯いるかいないか。ほとんどが役員だが小中高生がいたので希望を感じた。 ○年配の方が多い、地域の人々の関係が希薄であることが課題。 | ○共通の課題として、中・高校生の参加をどう増やすか、また高齢者の救助がある。知恵を出し合っていく中にヒントがある。(ファシリテーター) |
| シャリエ三島壱町田自治会 | ○昨年マンションにAEDを設置したのでその取り扱い訓練を中心に行った。 ○昨年課題になった家族人数、要介護支援者等の情報共有のため、個人情報公開を承諾された方のリストを作成・公開した。 ○防災訓練の参加率は90世帯で3割程度。参加者も固定化している印象。 | ○今年自治会自体の加入率も8割程度なので、黄色いハンカチを全世帯分購入し、配布する際に加入促進を図りたい。 |
| ◇小学校・中学校の取組について | | |
| 北小学校 | ○防災学習会では各会長に大変お世話になった。 ○夏休み前に子どもたちに各地区の防災訓練日程を知らせ、参加を呼びかける。参加カードなども考えている。 | ○小学生のための防災訓練のプログラムを作って欲しい。 ○小学生が楽しんで取り組めるプログラムがあれば参加しやすい。(ファシリテーター) |
| 北中学校 | ○男子生徒は災害時大変な戦力になる。 ○部活動やスポーツ団体等に加入している | ○親から参加を促してもらうことも一つの手。 |

| | | |
|---------------|---|---|
| | 中学生はなかなか強制できない。 | ○防災訓練の期日を出来るだけ同日にすることについて、会長どうしで検討してほしい。(ファシリテーター) |
| 北小学校 P T A | ○P T A主催の防災学習会を企画した。 ○保護者も半数近くは一次避難地や避難所を知らない、また区別がついていない。災害時には自主防災組織を立ち上げて救助活動を行うことも知らないと感じた。 ○保護者に災害への危機感が足りない。 | ○保護者に防災訓練に参加することで、実際に災害が起きた時の行動を理解してもらおうアプローチも必要。 |
| シャルマンコーポ町内会 | ○高層階に高齢の1人暮らしの方が多くいる。防災訓練時、いかに高齢の方々を下まで運搬するか勉強中。 | ○ボランティアと町内会が一体となって集会室を利用した街中カフェのようなものを来年度進めていきたい。今年は準備期間。 |
| ファシリテーター | ○学校と地域の連携、防災訓練の日程の調整、子どもも参加できる防災訓練のあり方、日頃から顔の見える関係づくりなど、具体的な取組を考えていく。 | ○課題や意見を自身の地域へ持ち帰り、今日の意見を参考に取り組みを進めてほしい。 |
| ◆第2部「市長との座談会」 | | |
| 市長 | <ul style="list-style-type: none"> ●建物の下敷きになった人は自主防災会で救出、運搬すると覚悟してほしい。救急車は市内に4台のみ。阪神淡路大震災時には8m以下の道路は使用不可。耐震補強が大事、配布資料「大切な家族の命は守れます」を参考にしてほしい。 ●倒壊や火災等で家が使用できなくなった人のために避難所がある。 ●三島は大火が心配。三島市内に消防車は26台のみ。初期消火が大事。可搬ポンプの訓練等をしっかり行ってほしい。 ●一次避難所で安否確認をする時、町内会に入っていない人をどうするかが課題。 ●災害弱者をどのようにサポートして避難地や避難所に連れて行くかが課題。 | ●(三恵台子ども会、大西たん君の作文朗読) 家族が無事なら黄色いハンカチや旗を掲げると、自治会の安否確認・救助が迅速に出来る。普段の防災訓練で使用することを各町内検討してほしい。 |
| 北中学校 P T A | ○防災学習会は非常に勉強になったという声多数。今まで防災訓練不参加の家庭も今後参加したいという声あり。 | |
| 市長 | <ul style="list-style-type: none"> ●岩手県の山田町に今も職員を派遣。 ●山田町で津波から助かった人たちは普段 | ●防災訓練のやり方は危機管理課に相談してほしい。最近ではハ |

| | | |
|-------------------------|--|---|
| | <p>から防災訓練に出ている人だった。</p> <p>●防災訓練で基礎基本の消火器や三角巾を練習しておくことが救命につながる。</p> | <p>グ（避難所運営訓練）など様々。</p> <p>県の地震防災センターも参考にしてほしい。</p> |
| <p>壱町田 1 丁目 自治会</p> | <p>○11月に防災訓練実施。</p> <p>○自治会の実態を自治会長が把握できていない状況。全役員が任期1年なのでわかった頃に交替してしまう。</p> <p>○地域住民の方々にどうやって伝えていくかが課題。</p> | <p>○3役含め組長、リーダーの理解を徹底していきたい。</p> |
| <p>加茂川町 2 区 自治会</p> | <p>○高齢者世帯が非常に多い。</p> <p>○会員名簿から要援護者を確認済。</p> <p>○全世帯に車椅子の援助の有無を確認済。</p> <p>○実際に災害が起きた時の避難方法、安否確認をどうするかが今年の課題。</p> | <p>○自主防災訓練は1区と合同で実施。年度計画を作り、常に組長、防災組織と連携している。一つずつ進めて行く。</p> |
| <p>市長</p> | <p>●配布資料に三島市の第4次避難想定がある。東海地震級、南海トラフの巨大地震級、相模湾の地震等のケースが出ている。</p> <p>●災害対策基本法が改正し市が災害弱者の名簿を作成、把握する。自治会長、自主防災会長に配布していく。</p> | <p>●災害時には個人情報保護の枠をはずし、名簿を利用して安否確認や救助活動が可能。</p> |
| | ◇幼稚園、小学校、中学校の取組について | |
| <p>北幼稚園</p> | <p>○園児は210人。3、4、5才児をより安全に避難させる為、訓練を見直していく。</p> <p>○北小と同じ敷地内にあるので北小と連携した防災教育、訓練を行う。</p> | <p>○屋内消火栓設備を幼・小共同で使用する。正しい使用法、安全な消火を目指す。</p> |
| <p>北小学校</p> | <p>○災害発生時、子ども達が在校、または通学路上の場合を想定し、低学年は学校内、中学年は通学路上の危険物を調査・発表し、高学年はリーダーとして何が出来るかを話し合った。</p> <p>○フェアキャスト使用。災害時には各家庭につながるまで固定電話・携帯電話・ファックス等を通して学校の情報を流す。</p> <p>○ブログは10万件アクセスを超えている。</p> | <p>○地震、大雨洪水警報など警報が出た時には自宅待機となる。皆さんの協力、理解をお願いしたい。</p> |
| <p>北中学校</p> | <p>○災害時子ども達が在校の場合は学校に残ることが基本。学校は耐震補強され、避難所なので安全。地域の安全確認後、引取りまたは近距離なら連れていく。</p> <p>○学校外の場合は地域での協力を促す。</p> | <p>●在校時に震災があった場合、特に2・3年生男子は避難所準備等の活動に参加させてほしい</p> |

| | | |
|-------------|--|--|
| 市長 | <ul style="list-style-type: none"> ● 9月1日は地震予知出来た場合の訓練。 ● 12月はじめの地域防災の日は突発的地震の想定。長伏は参加者多数の立派な訓練を実施している。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 中学生は9月の部活動シーズン中は防災訓練に出にくい。12月はじめだとシーズンオフなのでかなり出やすい。 |
| 東レよろい坂子ども会 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 三恵台子ども会の活動、大変素晴らしい。 ○ P T Aの防災学習会の企画は、子どもたちが全員参加でき、親も多数参加できたので防災への意識が高まりとてもいい機会だった。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動中に何かあったら命を懸けて子どもたちを守ろうと思っている。みんなで気持ちを一つにしていきたい。 |
| スポーツ推進委員 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 北小区の体育振興会もやっている。 ○ 校区の運動会も防災訓練も、年々参加者が減り高齢化している。 ○ 運動会は中・高生の参加種目が年齢別町内リレーしかない。小学校を卒業してしまうと両親は運動会に出てこない。 ○ 干渉されず家族だけでどこかに行きたいという傾向が非常に強くなっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ P T Aと連携し自治会活動全体を広げていくことが必要。こういう場で意見を出し合い、活動が広がるといい。 ● スポーツはきずなづくりにとっても役立つ。 |
| 加茂川町1区町内会 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災学習会は大変いい機会。子どもが50名以上いて驚いたが、防災訓練のP Rも出来た。今後もぜひ北小と協力しながらやっていきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 子ども会や町内会に入っていない方が大勢いるので、災害時大混乱する。どう対処するか話し合っておいて欲しい。 |
| 壺町田2丁目自治会 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 先日神川橋の水道管が漏水した。老朽化している。橋が大災害に耐えられか疑問。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 水道管に限らず様々なものが老朽化していることを念頭におき、色々なことに取り組んでもらいたい。 |
| シャルマンコーポ町内会 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災訓練の参加人数は減っている。アンケートをとると小・中・高生が参加すると親が参加して人数が倍になる。 ○ 6月に防災訓練をするので小中学校に協力をお願いしたいと文書を出した。残念ながら支部には伝わってない。参加証明書もまだもらっていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ もっと学校に協力をお願いしたい。 |
| 北中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ○ シャルマンコーポ以外の自治会からは案内は来ていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全校生徒が集まるときにシャルマンコーポの生徒さんだけ残して説明する手順だった。 |
| 北小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ○ スタンプカードは訓練に参加したら自治会長、町内会長からサインをもらう形式。大変効果的だった。これから配布する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 夏休み前に訓練日一覧を作成し、案内・呼びかけを行う。 |
| 一番町町内会 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 震災時J R利用者、伊豆箱根利用者は、 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 三島の文教地区にJ Rの研修施 |

| | | |
|----|---|--|
| | <p>高校に避難することになっている。</p> | <p>設が出来た。避難所として利用できないのか。</p> <p>●避難所の指定は県が行う。県とよく話し合っていく。</p> |
| 市長 | <p>●この会は結論を出すのではなく、みんなで話し合っていく場。</p> <p>●他地域では新しいコミュニティとして試み始めているところもある。たとえば小学校区の運動会再開、校区全体での挨拶運動など、自分たちの地域は自分たちでもっといい地域にしていく機運が盛り上がってきている。</p> | <p>●それぞれの団体に問題を持ち帰って議論を深めて欲しい。2回目にはもっと内容の濃い、結論が出るような議論が出来ればいい。</p> <p>●ここに暮らしてよかったと思える地域になることを願っている。</p> |